

日本の起源で「美」を拓く。

飛鳥アートヴィレッジ

「飛鳥アートヴィレッジ 2017」 展覧会会場について

- 「南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館」の概要



展覧会の会場に使用する、「南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館」は、万葉集研究の第一人者である故・犬養孝氏の業績を顕彰する施設として旧南都銀行明日香支店の建物を活用して2000年にオープン、2014年にリニューアルして現在に至ります。

犬養氏の揮毫の軸装や生前の映像などの資料を中心に常設展示しており、万葉集に関する様々な書籍が閲覧できる図書室も備わっています。さらに、随時展覧会やミニコンサートの開催ができるスペースやカフェも併設しており、地元の方々はもちろんのこと観光客の方々にも広く来館、活用されている施設です。

所在地：〒634-0111 奈良県高市郡明日香村岡 1150

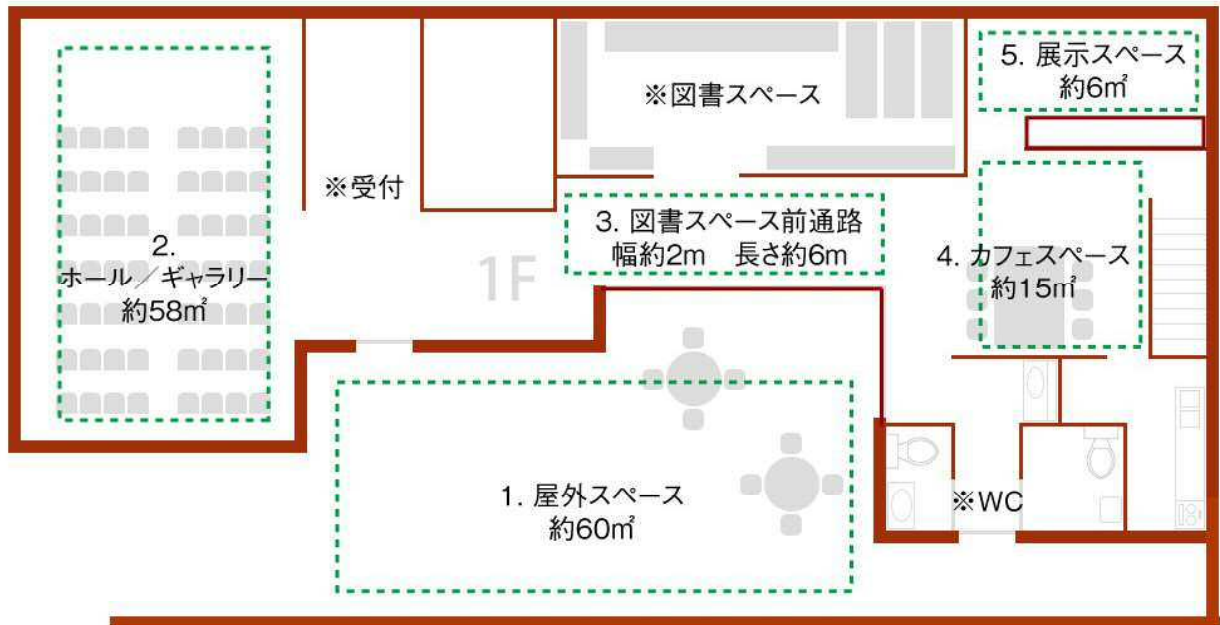
開館時間：10:00～17:00 休館日：毎週水曜日

電話：0744-54-9300 ウェブサイト：<http://inukai.nara.jp>

□ 展示可能スペースについて

「南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館」の1階部分と敷地内の屋外のスペースを、飛鳥アートヴィレッジの展示スペースに設定しております（建物内の2階は不可）。通常のお客様の導線確保や消防法の基準により、展示ができない場所もありますのでご注意ください。

全てのスペースにおいて、原状復帰が可能な展示を原則とします。なお、会期中はカフェの営業もありますが、展示プランによって屋内外の座席・テーブルの配置の調整は可能です。随時、記念館側と相談・調整の上最終のプランを決定します。



【主な展示スペース】

1. 屋外スペース

施設の門扉をくぐったところ、庭とテラスがあります。また右側の漆喰の壁や正面奥の建物の壁面も使用可です。床面は石畳とウッドデッキです。

テラス付近に置かれているログテーブルは、基本的にカフェに使用しますので、何台かは必ず置かれることになります。ほぼ雨風がかかるスペースとお考えの上、作品プランをご検討ください。



2. ホール／ギャラリー

施設玄関を入ってすぐ右手、施設内で最も大きな部屋です。プロジェクター、備え付けのスクリーン、ピアノがあります（ピアノはホール内からの撤去は不可です）。壁面に直接くぎ打ちなどはできませんが上部にピクチャーレール、スポットのダクトレールが備え付けられています。（スポット、フック・ワイヤー有）

天井部分は2階部分まで吹き抜けになっていて、大きな梁や柱もあります。（つり下げも可）



※ ホールスペース 昨年の展示の様子（左：望月 めぐみ、左：橋川 昇平）

3. 図書スペース前の通路

図書スペースの上には梁が複数本かかっていますので、それを使って何かを吊るした展示は可能です。また通路と図書スペースの仕切り部分は階段状の台になっていますので、こちらに作品を設置することも可能です。



4. カフェスペース

会期中は、図書スペースとその前の通路スペースの窓際に椅子やテーブルを置いて、メインのカフェスペースにする予定です。複数の展示ケース（のぞきケース×3、壁面の展示ケース×1）があり、すべて使用可能ですが、のぞきケースは会場内からすべて撤去することはできません。正面右側の壁面にはピクチャーレールがありますので、ワイヤーで平面作品を吊ることができます。また正面にあるテレビはブルーレイデッキがありますので、映像や音をテレビを使って流すことは可能です。

こちらも天井部分は2階部分まで吹き抜けになり、中央部分には一本スポットのダクトレールがあります。





※ カフェスペース 昨年度の展示の様子（楠本 衣里佳）

5. 展示スペース

大きな展示ケースの裏側に、小さな展示専用のスペースがあります。壁面上部にはピクチャーレールがあります。写真右の右にある写真額の裏側には窓がありますが、工夫して塞いで暗室にすることも可能です。



その他、展示内容や交渉によっては部分的に使用可のスペースもあります。

展覧会期間中、資料館としての機能（2階と1階部分の一部）とカフェは、普段通りオープンする予定です。

※ ご応募にあたって（作品プランの作成について）

応募書類提出時の段階で、屋内または屋外の展示のご希望は必ず明記してください。どちらでも可の場合もその旨明記ください。

もし詳細な場所の要望がある場合はその旨記載いただいても構いませんが、制作期間開始後に他の参加アーティストとのバランスを鑑みて調整または変更をおこなう場合があります。

また館内の備品使用の配分や館内の展示資料の移動も、現地で記念館の担当者も交えての調整となります。かなり具体的にプランを出される際は、会場の状況や諸条件によって作品・展示プランの調整が多少必要となってくることをご留意ください。